

科目名	在宅看護学特論 Theories of Home Care Nursing		担当教員 (研究室番号)	大越 扶貴 (405)		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修年次	1年次 前期	科目 区分	支持科目		選択 区分	領域 必修	単位数 (時間)	2(30)	授業 形態	講義	科目等 履修生	否
										遠隔授業	否	
科目 目的	在宅看護に関連する保健医療福祉制度や、療養者を支える家族を援助するために必要な基礎的理論について理解し、それに基づいた在宅看護実践方法について探究する。											
到達 目標	1) 在宅看護に関連する保健医療福祉制度（老人保健法、介護保険法など）の歴史の変遷を踏まえて、保健医療福祉制度・体制における在宅看護の位置づけが理解できる。 2) 個人および家族の健康と生活のアセスメントに関連する諸理論・モデルを理解し、それに基づいた在宅看護実践方法が考察できる。 3) ケアマネジメントに関連する諸理論・モデルを理解し、それに基づいた在宅看護実践方法が考察できる。											
成績評価方法 (基準)	レポート(70%)，出席状況・プレゼンテーション評価(30%)により総合的に評価する。											
教科書	特に指定なし。											
参考書等	デイビットP. マクスリー：野中猛・加瀬裕子監訳：ケースマネジメント入門：中央法規：1994 その他、随時紹介する。											
受講者への メッセージ	在宅看護実践のあり方について、様々な角度から探究していきます。問題意識をもって臨んで下さい。											
備考												
回	学習項目			学習内容							主担当 教員	授業 方法
1回	オリエンテーション 地域で生活する個人・家族を取り巻く 社会背景			特論の位置づけと学習概要、地域で生活する個人・家族を取り巻く社会背景と保健・医療・福祉政策・制度の動向（介護保険、成年後見制度、オレンジプラン）							大越	講義
2回	家族介護とジェンダー			先行研究や高齢者虐待事例等を通して、性差と介護について検討し、介護者のアセスメントの視点を検討し、支援方法を考察する。							大越	講義
3回	家族介護に関連する評価指標 1			介護負担の定量的評価をするZarit介護負担尺度の実践的援用について考察する。							大越	講義
4回	家族介護に関連する評価指標 2			Lawtonらの高齢者の家族介護者の肯定的評価、国内の肯定的評価における先行研究について概説する。							大越	講義
5回	家族介護に関連する評価指標 3 (課題①)			既習の家族介護に関連する評価指標を用い、実践事例等の検討し、支援方法について考察をする。							大越	講義
6回	家族のケア理論と方法論 1			家族システム理論を用いて、事例のアセスメントを試み、支援方法について検討・考察する。							大越	講義
7回	家族のケア理論と方法論 2			家族危機理論を用いて、事例の支援プロセスを検討し、支援のあり方について考察する。							大越	講義
8回	家族のケア理論と方法論 3 (課題②)			既習の家族のケア理論を用いて、事例のアセスメントを試み、支援方法について検討・考察する。							大越	講義
9回	ケアマネジメント方法論 1			生活を支えるケアマネジメントの理論とプロセスについて概説する。							大越	講義
10回	ケアマネジメント方法論 2			高齢者虐待事例を用いて、多分野協働のアセスメントの意義と効果について学ぶ							大越	講義
11回	ケアマネジメント方法論 3 (課題③)			リソース・マトリックスの作成および活用について、事例を通して学ぶ。							大越	講義
12回	ケアマネジメント方法論 4			利用者の主体的判断の重要性について学ぶ。							大越	講義
13回	在宅移行促進のための退院支援・継続看護1			地域包括ケアシステムの概説をする。また地域包括ケアシステムにおける看護職の役割と機能について検討・考察する。							大越	講義
14回	在宅移行促進のための退院支援・継続看護2			先行研究から、退院支援や継続看護の現状と課題について検討・考察する。							大越	講義
15回	在宅移行促進のための退院支援・継続看護3(課題④)			既習の理論や方法論を用いて、既存の事例を分析し、退院支援や継続看護のあり方について考察する。							大越	講義